

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホーム延寿園 ユニット 寿	評価実施年月日	平成21年1月15日
評価実施構成員氏名	管理者 新村 道子 主任介護員 新村 道子 計画作成担当 出村 知子 船越 称生		
記録者氏名	船越 称生	記録年月日	平成21年2月3日

北海道

は外部評価項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	その人らしく尊厳のある生活を提供。	○	理念に基づきその人らしく暮らし、尊厳のある生活をして頂きたい。
<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	ショートミーティング時に次の勤務者への申し送りや入居者さまの様子・特変等を把握する。		
<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	運営推進会議の活用。		
2. 地域との支えあい			
<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	年に6回、ご家族さまや地域の方々を含め、運営推進会議を行っている。	○	入居者さまの事例をあげさせて頂き、区会の方々と話し合ったり、グループホームとは何かを分かって頂けるような深い話し合いの場としたい。
<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	"	○	"
<input type="checkbox"/> 事業者の力を活かした地域貢献 6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	デイサービスの地域の方々への開放。	○	グループホーム内や入居者さまの元気で楽しく過ごされている様子を見てほしい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>外部評価等で指摘・指導項目に対しては、カンファレンスで話し合い、改善に努める。</p>		<p>日誌の記入の仕方。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>地域(区会の役員)の方や入居者さまの家族代表者の方の意見を取り入れ、サービス向上に活かしています。</p>	○	<p>運営推進会議にて話されたことに対して取り組みを進めていく。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>市町村担当者の職員との行き来する機会がほとんどない。</p>	○	<p>市町村担当者の職員と面識を持ち、色々お話が出来るような機会を作りたい。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>理解しているが実際は支援できていない。</p>	○	<p>グループホーム内での勉強会の場を作り、勉強したい。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>研修に参加している。</p>		<p>参加者がカンファレンス等で説明し、防止に努めている。</p>
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>説明し、理解・納得していただき、同意を得ている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居者さまからの意見・不満・苦情に関しては、十分にお話を聞き、カンファレンスで話し合う。		
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	月に1度、延寿園便りを送らせて頂いています。		入居者さまの食事・体重・排泄・血圧・睡眠・運動等や日々の様子、往診受診の内容、来園時に持ってきて頂きたい物等を明記し、毎月送付させて頂いています。
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族さま側からの意見・不満・苦情があったときには早急にカンファレンスやショートミーティング等で話し合い、対応している。		毎日のミーティングで確認し、話し合っている。
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	その都度、管理者へ話し、反映させている。		もう少し話し合いをする時間を持ちたい。
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	入居者さまのADLに対応出来るように介護者の人数は調整している。		
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	当グループホームは2ユニットで、行事は合同で行うことが多く、別ユニットのスタッフの顔が分かるように心がけている。		月に1度、誕生会を合同で行っている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	介護員の研修を受ける機会が少ないです。	○ 着実な研修計画(年間)を作り、実践したい。
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	地域の他グループホームとの交流をもつ機会がない。	○ 町役場の職員や区会の役員等の方々が集まれる推進委員会などを活用していきたい。
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	管理者、介護員とは向き合った話し合いを行っている。	
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	介護員の個々の努力や実績・勤務状況に関しては十分に把握していると思います。	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	真剣に話を聴き、求められていることを受け止められるようにしています。	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	ご家族さまからの要望や入居者のご様子をお話させて頂いています。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	十分にご家族さまや本人さまとお話をさせて頂き、最も必要とされるサービスや他のサービスにも対応できるように努めています。		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	無理をすることなく、少しずつ慣れて頂くように努めています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	入居者さんと向かい合い話を聞き、共感している。		
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族さまには入居者さまの日々のご様子を伝えさせて頂いています。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	入居者さま、ご家族さまの今の思い、これからの思いをきちんと伝えている。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みの方や知人の方はほとんど来所されない。	○	ご家族さまに積極的に働きかけ、協力して頂く。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	自分から話しかけるのが苦手なのか、話しかけることが少ないためにスタッフが間に入り会話をして、食事・レクリエーション・体操など皆で行い、孤立させないように努めている。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	当グループホーム建物内(3階)の高齢者マンションに転居された方が2名居ます。時おり、グループホームに遊びに来られ、一緒に過ごされています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	できるだけ本人の思いや希望に沿えるよう心がけ、検討するようにしている。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	昨年、ご家族さまに協力して頂き、基本情報の不足分を作成して介護員が把握できるようにしています。		今後も入居者さまやご家族さまとお話しをして少しでも以前の暮らし方など、多くのことが分かるように努めていきたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	入居者さまができるだけ自分の思いのまま過ごして頂けるよう努めていますが、お部屋に引きこもったり、一日中寝てばかりいることのないように声をかけさせて頂くこともある。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	計画を立てる際、ご家族さま・ご本人さまの要望を聞き、介護員とともに話し合い、意向等を反映した介護計画を作成するように心がけています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	介護計画の期間を過ぎてしまい、スムーズに計画書が出来ないこともありますが、入居者さまの変化に合わせて見直しをしています。	○	記録の記入の方法をケアマネに見直して頂き、指導して頂いています。
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	介護記録に短期目標を載せ、入居者さまに必要な介護を行えるように努めています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	状況や要望に応じて柔軟な支援が出来るように努めています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	年に数回、ボランティアの方が来て下さっています。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	していない。	○	なかなか機会がないのが現状ですが、できれば他事業者の方と話し合いの場を作っていきたい。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	ほとんどしていない。	○	今後地域包括支援センターと協働できるよう努めていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。	毎月往診にて対応。		特変時には病院に電話を入れて指示を受ける。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	数名が受診。		定期的に受診しています。
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	特変時に電話を入れ、医師の指示を受ける。		毎日行う血圧測定。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	医師、看護師に相談。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	ターミナルケアは考えているが、ご本人さま・ご家族さま・医師との話し合いはされていない。	○	重度化に対しての介護のレベルアップ。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	”	○	”

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
49 ○住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	ケア会議を開く等の取り組みをしています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	言葉遣いに気をつけて対応しています。	○	不適切な言葉遣いを職員間で注意し合う等、向上を図っていきたい。
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	思いを訴えてくる方が少ないので、声をかけて思いを引き出す等の対応をしています。		
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	物事に対して無理強かさせることなく、個人のペースで過ごして頂いています。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	希望を言えない方が多いため、定期的に声をかけて出掛けています。		
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	月2回の調理実習日には職員と一緒に下ごしらえをし、手がけた料理を食べられています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	喫煙者には火の元に注意し、対応しています。おやつは種類や味を変えて日々提供し、楽しみを持てるよう対応しています。		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	時間をみてトイレ誘導の声かけをする等の対応をしています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	希望等の訴えをされる方がいないので、こちらからの声かけにて入浴をされ、気持ちよく入浴していただけるよう対応しています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	居室や談話室にて個々で休息されていますが、訴えられない方には声かけにて対応しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	季節の行事や誕生会等の楽しみをもてるように企画しています。	○	気晴らしの一つの外出兼散歩・ドライブをもう少し積極的に行っていきたい。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	管理はグループホームで行っている。管理できない方が多い。	○	職員と一緒に買物に出かけてお金を使う喜びの気持ちを持てるようにしていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	天候や体調をみながら、近所を散歩したり日光浴や買物に同行していただいている。	○	今後も継続して、可能な限り外出の機会を作っていきたい。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	近所の公園に行ったり、お祭りやイチゴ狩り、ぶどう狩り等には出かけているが、入居者個人のニーズをくみ取る対応までには至っていない。	○	入居者個人のニーズを把握し、身体的に無理のない範囲内で行っていききたい。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	希望があるときには電話の取次ぎなどを行っている。	○	電話等の連絡に加え、年賀状・暑中見舞いなどの便利にも積極的に働きかけ、出してもらう機会を増やしていきたい。
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	ご家族さまの訪問時には挨拶を欠かさず、いつでも訪問して頂けるよう明るい雰囲気作りを心がけ、コミュニケーションを取っている。	○	今後も気軽に訪問して頂ける雰囲気作りを大切にしていきたい。
(4) 安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束の問題・重要性を各職員が理解し、拘束をしないケアを行っている。	○	身体拘束の具体例を各職員が確認し、何が拘束にあたるのかをより正確に理解していきたい。
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	玄関や居室の鍵はかけず、各フロアの出入り口に設けたオートロックは入居者さまの不穏時など特別な場合を除き、鍵を掛けていない。	○	今後も原則として鍵を掛けないケアを続ける。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	各職員が入居者さまの所在や状態を把握し、職員間の連絡・引継ぎも行い、情報の共有に努めている。	○	今後も入居者さまの安全に配慮し、事故ないように行っていきたい。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	各入居者さまの認知レベルやADL等に合わせて持ち物の管理を行っている。	○	入居者さまの状態に気を配り、同様の取り組みで事故防止に努めたい。
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	転倒などのリスクについて職員会議で検討し、知識の共有と事故防止に取り組んでいる。	○	事故、ヒヤリハットの事例検討を行い、さらなる事故防止に努めたい。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	消防署主催の救命講習に職員が参加し、その内容を他職員にも伝えている。	○	全ての職員が講習を修了するまでには至っていないので、今後も積極的に参加し、技術の向上に努めたい。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	災害時の避難経路を各フロアに明記しているほか、消防署への連絡マニュアルも作成している。	○	避難訓練などを通じ、職員が慌てず冷静に行動できるようにしていきたい。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	ご家族さまには入居者さまの状態と考えられるリスクについて積極的に話し、対応の検討と理解を得られるようにしている。	○	今後もご家族さまとの連絡を密にし、安全かつ快適な暮らしのために一緒に検討していきたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日のバイタル測定や入浴前等のバイタル測定を観察し、必要に応じて受診しています。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬時はその方により一部介助、飲み込みまで確認の全介助を行っています。薬の変更があった場合は用法・用量を確認し、支援しています。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	水分の補給や毎日の体操で少しでも排便を促すほか、牛乳を飲んで頂いたり、毎食ごとになるべく多くの野菜を食べて頂いています。		できるだけ下剤などは使用せずに自然に排便できたら、と思います。
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後、声かけ・誘導でうがいや義歯の洗浄を行っています。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	塩分を控える必要のある入居者さまには薄味で提供させて頂いています。ひとり一人の状態に応じて支援させて頂いています。		食べる量の少ない方は声かけして少しでも多く食べて頂くように対応していきたい。
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザに関しては職員・入居者さまの予防接種を行っています。その他は決まりごとに沿って行っています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	調理担当者が行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	季節感のある飾り付けをしている。		桜、ガラス細工、落ち葉、栗、サンタクロース、お正月飾りなど。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	四季を通して季節感のある飾り付けを心がけている。		お正月飾り、七夕、クリスマス等。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	談話室に数名腰掛けられる長いすを置いています。		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居される際、使い慣れたもの、思い出のものなどを持って来ていただいている。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	温度調節は職員が行っている。		冬期間は乾燥を防ぐために談話室に加湿器を使用している。各居室は就寝前に濡れタオルで対応している。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	廊下等には手すりを設置して安全に歩行できる。	○	夏、冬問わずに下肢機能低下防止に利用する廊下歩行を行う。
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	誤認や錯覚などをしているような時は本人の気持ちを受け入れ、安心できるような言葉掛けをしている。		
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	屋上があるのに利用できていない。	○	屋上(パークゴルフ)と隣の駐車場をもっと活用したい。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんど掴んでいない</p> <p>② どうしても無理なこと以外は入居者さまの思い・意向を掴んでいる。</p>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない</p> <p>① 9時30分～11時と13時～14時くらいに職員とゆったり過ごしている。</p>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない</p> <p>② ほとんどの入居者さまは居室で過ごすよりも談話室で過ごされるほうが安心しているようです。</p>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<p>① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない</p> <p>② 介護員が笑顔で接することにより、入居者さまも笑顔になってくださいます。</p>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない</p> <p>② 自分からどこかへ行きたいと話されることはないので、行事で外出されています。そのときは全員参加していただきます。</p>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<p>① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない</p> <p>① 毎日のバイタルチェック・入浴前・医師からの指示があった際は指示の時間に測定を行い、変化がわかるようにしている。月に一度の往診、変化があれば担当医師への連絡を行っています。</p>
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<p>① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない</p> <p>② できるだけ要望を聞き、安心して暮らして頂けるように努めています。</p>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<p>① ほぼ全ての家族 ② 家族の2/3くらい ③ 家族の1/3くらい ④ ほとんどできていない</p> <p>① 来園された際、お話をするように努めています。</p>
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない</p> <p>③ 月に1回程度、ご家族さまが来園されますが、知人友人等の方が来園されることはほとんどありません。</p>

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p> <p>② 昨年、地域の方と一緒に盆踊りを行いました。</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>③ ミーティングで話し合うようにしていますが、悩みを抱えている介護員も見受けられます。</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>② 自分の思いが通らず、不満に思っている入居者さまもおられます。</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>① 入居させて良かった、自宅に居るときと180度変わった、ご家族さまが介護のストレスがなくなったと表情が明るくなり、来園される回数が増えたご家族さまもおられます。</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

- ・季節の行事にはほぼ全員参加していただき、楽しんでいただいている点。
- ・入居料が他のグループホームより安い設定になっているため、安心して入居できる点。
- ・屋上でパークゴルフ・焼肉・日光浴ができる点。